JAPAN TEACHERS' UNION ―教え子を再び戦場に送るな―

JTU ほっきゅう NO.19

2023. 8. 30 北九州市教職員組合にゅうす

「8・6平和のつどい」開催される！その1

テーマ「più f（ピウ フォルテ）もっと強く 今こそ ヒロシマの思いを 世界へ」

（左）浦田悠輝さん（高校生）
（中）白濱美咲さん（高校生）
（右）古賀　明さん（教員）

ヒロシマ、ナガサキに原爆が投下されて７８年が経ちました。「被爆者健康手帳」を持つ人は、３月末で１１万３６４９人、「被爆者」の平均年齢は、０．４８歳上がり、８５．０１歳となりました。全国の被爆者の平均年齢が初めて８５歳を超えました。近年は、１万人に迫る減少ペースが続いており、被爆者の高齢化とともに被爆の惨禍をいかに次の世代に「つなぐ」かが課題となっています。

８月６日、ウェルとばた大ホールにて、「８・６平和のつどい」が２６６名の参加者を迎え、開催されました。新型コロナも五類移行となり、規制無しに開催することができました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まって一年半になろうとしています。世界中の人々が早く戦争が終結することを願っているさなか、４月にはスーダンで内戦が始まりました。今も世界の各地で尊い命が奪われ続けています。

私たちが住んでいるこの国も８０年ほど前、多くの国を戦禍に巻き込みたくさんの命を奪いました。その反省のもと誕生した日本国憲法が今、大きな岐路に立たされています。

２０２２年１２月１６日「国家安全戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画（安保三文書）」が閣議決定されました。反撃能力（敵基地攻撃能力）保有が明記され、日本の安保政策の歴史的大転換にも関わらず、国会で論議されることなく「閣議決定」されてしまいました。敵基地攻撃能力や反撃能力を持つことは、相手国の反撃を招いて武力の応酬に結び付く可能性が高くなります。その結果、再び日本に戦争の惨禍をもたらすことになりかねません。私たちは平和的な外交関係を積極的に行っていくことが必要であると考えます。

さらに２０２３年６月１６日「防衛財源確保法」が成立しました。5 年間で総額 43 兆円と支出の規模ばかりが先行し、財源についてははっきりしていません。岸田政権が重点を置く少子化対策の財源も詳細は示されず、結論は年末に持ち越されてしまいました。こんな滅茶苦茶な政治がいつまで続くのでしょうか・・・。

『8・6平和のつどい』にようこそ

戦争は学校を戦場にしました。
戦争は子どもたちから家族を
奪いました。
戦争は子どもたちから未来を
奪いました。
この過去を、この歴史を私たちは
語り継がなければなりません。
多くの悲しい事実にこそ
平和な未来への道筋が託されています。
戦争は、平和の中から生まれてきます。
戦争は、人間の「無関心」と「他人事」を
好みます。
戦争の足跡を見逃さないでください。
戦争の足音を聞き逃さないでください。
皆さん、どうぞ命と平和の大切さを声に
出していきましょう。
この会場を未来への希望でいっぱいに
しましょう。

「8・6 平和のつどい」パンフレットより

「今は、新たな戦前では」という人もいます。大切な人の命を守るためにも「新たな戦前」にするのではなく、「永遠の戦後」を守っていかなければなりません。

NO.20につづく

○近年、若者たちの平和に対する意識や戦争を語り継ごうという意志が薄れている中、司会の高校生 2 名の姿を見て、教師という立場の私たちが本当に頑張らなければと強く思いました。北九州市出身の父、沖縄出身の母から生まれた私は、平和の大切さを語り継ぐ使命があると思います。あの日、北九州に原爆が落ちていたら、おじい、おばあが集団自決をしていたら、今の私はありません。今後も平和について考え、目の前の子どもたちに伝えていきたいです。　（20 代の参加者からのメッセージ）

わからないこと・困ったことがあったら…　何でも気軽にお問い合わせください！
///JTU 北九州市教職員組合　〒802－0072　小倉北区東篠崎３丁目4－1
E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp　北九州教育会館　TEL（093）953－0381